

第2回

島田市中小企業・小規模企業

振興推進会議

平成31年2月13日

議事要録

平成 30 年度 第 2 回 島田市中小企業・小規模企業振興推進会議

議事要録

会議体の名称	第 2 回 島田市中小企業・小規模企業振興推進会議	
事務局（担当課）	島田市産業観光部 商工課	
開催日時	平成 31 年 2 月 13 日（水） 13:30～15:00	
開催場所	島田市役所本庁舎 4 階 第 3 委員会室南	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議について ・ 平成 31 年度予算案について ・ 島田市中小企業・小規模企業実態調査について ・ 来年度の会議スケジュールについて 	
出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田商工会議所 佐久間専務理事 ・ 島田市商工会 小野田事務局長 ・ 中小企業家同友会志太支部 戸塚条例推進委員 ・ 有限会社落合製材所 落合代表取締役 ・ 新東海製紙株式会社 河村事業統括部長 ・ 島田信用金庫 三浦理事 ・ 株式会社静岡銀行島田支店 伏見支店長 ・ 島田榛北地区労働者福祉協議会 鈴木会長 ・ 島田市校長会 北中学校 伊藤校長 ・ 島田市 谷河産業観光部長
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊池商工課長 ・ 中村商工課長補佐 ・ 大石産業支援センター係長 ・ 高橋主事

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議席次表 ・ 【資料 1】 第 1 回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議について ・ 【資料 2】 中小企業等振興推進会議 他市の取組みについて ・ 【資料 3】 島田市における中小企業支援施策一覧 ・ 【資料 4】 平成 31 年度島田市における中小企業支援施策分布図 ・ 【資料 5】 島田市中小企業・小規模企業実態調査について ・ 【資料 6】 島田市の事業所数 ・ 【資料 7】 産業（大分類）別事業所数 ・ 【資料 8】 平成 31 年度島田市中小企業・小規模企業振興推進会議 スケジュール案
------	--

【議事録】

- 菊池商工課長 みなさんこんにちは。定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第2回「島田市中小企業・小規模企業振興推進会議」を開催いたします。
- 会議に先立ちまして、委員の出席者数を報告します。定数11人のうち、本日は1人欠席の10人が出席し、過半数を超えておりますので、「会議規則」第3条第2項の規定により、会議は成立しています。それでは、ここから先は佐久間会長に進行をお願いいたします。会長、よろしくをお願いいたします。
- 佐久間会長 みなさまこんにちは。商工会議所の佐久間です。よろしくお願いいたします。それでは、次第に従って進めていきます。
- 説明及び意見交換ということで、まず初めに昨年10月29日に開催した第1回の会議を振り返ってみたいと思います。資料がありますので、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 **資料1**の説明
- 前回会議で出された意見を紹介し、推進会議の役割及び現状の課題を確認した。また、今後の議論について深堀するテーマを決めること及び市の施策に対して評価することを提案した。
- 資料2**の説明
- 他市の推進会議の取組みや議題について情報提供した。
- 佐久間会長 事務局の説明が終了しましたが、今の説明について、不明な点はありませんか。
- それでは、意見交換に移ります。ただいまの事務局の説明の中で、今後の会議については、一つに深堀するテーマを決めていく、もう一つに市の施策を評価するとの提案がありました。いろいろな方法があるかとは思いますが、どちらか一つに絞っていくのか、2つを並行してやっていくのか、意見がございましたらお願いします。
- A委員 テーマを絞るということで、この現状の課題については全くその通りだと思います。ただ運用として今回2回目ですが、果たして年2回の会議でプランを立てて実行していく時に頻度をどうするのかといった運用の仕方を決めていかないといけないのではないかと。

テーマを決めることは簡単だが、その後をやってなんぼなので。もちろんおびサポがあったり市の運用に落とし込んでいったりするものであればいいが、そのあたりを踏まえた議論をしないと少しぼやっとしていると感じる。

○佐久間会長 そうですね。会議の位置付けにも関わるところだと思います。他にありますか。

○B委員 今の話にあったように、ただ数ヶ月に1回の会議では会議を開催しただけで終わってしまう。資料1にあったことをやろうとすると、会議の数を増やしたり質をあげたりする必要がある。例えば富士宮市は懇談会として頻繁に開催しながら施策を検討している。今の島田市は、そのあたりの運用が委員も行政もわからない状態なので、先進事例を聞くということをやってみたらどうか。富士宮市の会長は商工会議所の会頭だが、先日会った際に聞いてみたところいつでも話しに来てくれるとのこと。そういったこともこの会議で検討してもらいたい。

○C委員 テーマを決めて進んでいくということは、企業さんも色々な問題点をもっていると思うので当然必要なことではあるが、そのテーマについてこの会議がどこを目指していくかというところ、施策をつくるまでなのか、その実行を誰がやるのか、いつまでに検証するのか、スケジュール化していくことも必要。問題点を出してというところまでとするならそれでも良いし、実際動かしていくとなると実行性のところを決める必要がある。

○佐久間会長 今回は2回目ですが、どうしたらこの会議が現場の活性化を図れるようになるのか、他にご意見どうですか。

○A委員 この会議の役割について説明ありましたけれど、こういったことをやっていくには、個人的には3ヶ月に1回くらい開催しても良いのかなと思います。この会議には中小企業に関する方々がいるので、方向性が決まれば運用にも関わられるような方だと思います。このままでは報告だけで終わってしまうのでは。

- B委員 今言われたように推進会議がぼやけてしまっている。藤枝市は協議会、富士宮市は懇談会だが、施策の協議をするとなっている。島田市もそのような組織を立ち上げるのか、この会議がそのように変化していくのかも決めたほうがいい。
- 佐久間会長 事務局は、委員のスピード感で良いのか、もっと課題をあげてほしいというのか、スピード感が違っていると感じるがどうでしょうか。
- 事務局 実態調査については、これから行うため、まだ検討ができないので、今はみなさんの立場で感じている現状や課題をもとに検討に結びつけていくしかないと思います。現状と課題のズレがあり、それをどこが実行部隊としてやるのかということや、商工課で行っている施策も十分でないところもあるかと思しますので、そこをどう埋めていくかといった方向性を決めていただいて、それを解決するためには会議を何回開催したら良いかという順番ではないか思います。
- 佐久間会長 実態調査はやる計画でいるのですか。
- 事務局 来年度、まだ案ですが予算をとっていますので行う予定でいます。
- 佐久間会長 議題にもありますが、実態調査は今後やっていくということです。今委員のみなさんから意見があった会議の回数については検討していただけるのでしょうか。
- 事務局 もちろん、この会議の意見として回数を増やすということであれば対応していきます。
- 佐久間会長 議論に戻りまして、今後の検討としてはテーマを絞るのか、施策を評価するのかどうでしょうか。
- D委員 質問ですが、会議の役割にある評価とは以前行っていた「事業仕分け」と似ていると感じますが違うものですか。
- 事務局 考え方としては違うものではありませんが、事業仕分けは全部の事業でなく委員会で事業を選んで行いました。具体的には補助金の効果はどうかといったものが多かったです。

- C委員 議論するテーマはここに挙がっている3つだけなのか。
- 佐久間会長 こちらはあくまでも例としてなので、それ以外でももちろん構いません。
- E委員 それに関して質問ですが、テーマを絞るか、施策の評価かということですが、これはどちらかを選ぶということですか。
- 佐久間会長 いいえ、併行していくことも可能だと思います。
- E委員 前回の会議のポイントとして、一つが中小企業・小規模企業の振興を図ることと、もう一つが条例の実効性を高めることであったと記憶しています。とすると、現在の課題をテーマとして解決していくことが振興を図ること、そして施策を評価していくことが条例の実効性を高めることに繋がると思うので、どちらかではなく両方やっていく必要がある。そう考えていくとやはり2回の会議では足りないと思います。皆さん集まれるのかということはありませんが。
- 事務局 テーマを仮に「事業承継」とした場合、それに関する施策があって、その課題に対してどうかということになるのでどちらかということではなく、併行していくことと思います。
- B委員 今後の議論について、今日急に資料を出されて議論をと言われても材料がないと議論にならない。ここにあるテーマについて、市内の状況も全くわからない状態で議論するのも難しい。アンケートなどの結果を見てからでないと議論しにくいと思うので、逆に議論をする前の資料として、こういったものが必要だとかいうことを議論した方が良く思う。
- 佐久間会長 現状把握ということもありました。来年度調査をやられるということなので、どのような調査をやられるのか事務局から説明をお願いしますか。
- 事務局 **資料5**、**資料6**、**資料7**、**資料8**の説明
来年度、市が実施予定の実態調査について、調査の目的、予算、概要、スケジュールについての案を説明した。

- 佐久間会長 事務局から説明ありました調査とスケジュールについて、ご意見ありましたらお願いします。
- F委員 調査が10月からということで、2月、3月にならないと結果が出てこない。今議論を3カ月に1回やるとしてもこの結果をみないと同じような話の繰り返しになる可能性が高いですけど、この調査を受けて何が問題かというのを掘り下げて、課題に対して協議するという形で進んでいかないと、ここで何をやりましょうということになってしまうのではないか。
- 佐久間会長 調査の期間をもっと詰めて、調査の結果がわかってから議論をするという意見がありました。他にはいかがですか。
- G委員 調査内容は今後検討していくということでしたが、この検討をするのはどのメンバーなのか。このアンケート内容が、方向性が違う聞き方になってしまう可能性もある。アンケートは質問を精査する必要があるので、もしよければアンケートの内容もこのメンバーが入ってやれば良いと思うのですが。
- 佐久間会長 アンケート内容についての意見がありましたが、先ほどの説明だとプロポーザルで業者を決めていくのですよね。となると、アンケート内容についても業者にゆだねるということですか。
- 事務局 案は出していただくことはあるかと思いますが、最終的な決定は委託業者にすべて任せるということではないです。スケジュールの中で7月に1回目の会議をかかせていただきましたが、今お話いただいたように、アンケート項目のたたき台がでたところで、委員の皆さんにご意見伺いたいと思います。推進会議の役割にもありました通り、現状の把握というのがありますので、これをまずやっていきます。
- 佐久間会長 アンケート内容については委員の皆さんにはかる、また時期についても見直せるという事務局の考えがありました。
会議所で2年ほど前に実態調査をやりました。製造業で100社、小売業で100社。その項目は日本商工会議所が出している中で選びましたが現場は大変だということが調査でわかりました。半分以上が先行きがすごく不安だということだったので、事業承継のところでは

それともう一つわかったことが、事業計画を立てている事業所については、売上げが横這いか上がっていました。そこに気がついた事業者さんは3年や5年計画を立てているのですね。会合でも事業者さんに伝えていますが、アンケートというのはとても大切になってきますし、みなさんの意見の中でもあるように、1年で調査をするというのは間延びしているのかなと。もう少しスピードが大切だと思いました。

○G委員 例えば、商工会議所でアンケートを実施したものを今回こういった場で結果を使うというのはできないのかなと思いました。

○佐久間会長 それは良いと思います。

○G委員 あちこちからアンケートがくるのですが、回答するのは中小企業者1人、経営者なので皆さん苦勞されているのかなと思い、使えるところがあれば使っていくのがいいのかなと思いました。今回の趣旨に合っているかはわかりませんが。

○佐久間会長 会議所としては資料を使っていただけるのであれば幸いです。

○B委員 ここである程度アンケートの時期や調査方法とか、会議の開催とか、先進事例を聞くとか今日この会議ですべて決めますか。ここで決まらなければまた半年先まで何も決まらないままだと思うのですが。

○佐久間会長 予算や議会のこともあるかと思いますので、すぐこの場ですべて決定事項とするのは難しいと思います。

○B委員 予算にかかわらない会議の頻度や先進事例を聞くこと、アンケートの内容をいつ検討するか、いつ発送するかなど今日この場である程度決めても良いと思います。ある程度この会議の着地点を決めておかないと何も決まらないまま行ってしまうとまた半年後になってしまうと思います。

○佐久間会長 事務局もいますのでキャッチボールしながら決められるところは決めていけばいいと思います。

○F委員 アンケートのたたき台はいつでるのですか。

- 事務局 まずプロポーザルで事業者を決めるところでお時間をいただきますので、このスケジュールでいくと、7～8月頃を予定していますので、前倒ししても6月頃かなと考えています。プロポーザルの公募期間を設けたりします。
- B委員 商工会も商工会議所もアンケートを行っていて、最後の分析や報告なんかは業者をお願いしてもいいと思いますが、最初のアンケート項目なんかはこの会議で決めて、例えば商工会が持っているデータに照らし合わせれば良いのではないですかね。わざわざ業者をお願いする必要もないと思うのですが。
- 佐久間会長 分析をお願いする中で、調査項目も一方的ではないにしても事業者で決めていく方向になるのかどうか。
- 事務局 今、市が持ち合わせている情報、会議所さん商工会さんでやられているアンケートの内容をふまえて考えていくことはあろうかと思いますが、他市の事例を参考にという話もありましたが、富士宮市でもアンケート調査を実施しています。そういった中でも委託業者のこれまでの知識というもの入れながら、アンケート内容についてはできていく方が幅広い視点から項目ができていくのではないかと現時点では思っています。
- B委員 富士宮市のアンケート結果はここにもありますが、これをみる限り会議所や商工会のアンケートのような出し方も可能ではないかと思えます。とすると、時間をかけるよりも、仮にそれが中途半端でも足が早い方が、我々が検討できる時間がたくさんあると思えます。分析は業者さんに任せた方が良く思いますが、もう少し足早の方がいいと思えます。
- 佐久間会長 この会議のタイミングも意見を言いやすいタイミングが一番だとは思いますが、先ほどの富士市、富士宮市にはプロが入っています。会議所のことも良く分かっているし、プロが仕掛けてやられていると思えます。
- 事務局 どこに時間がかかるのかという話ですが、質問をつくって発送すればできるのではと思うかもしれませんが、一つは入力作業というところ

で、僕たちがやったらどうなるのかということもありますし、2,000社ということで、会議所や商工会の会員とすれば足りるのかもしれませんが、それで良いのかということもあります。入っていない事業所の情報も得なければならないというのもあって、時間がかかるのかなと考えています。

○D委員 島田市としては、今までこういった調査はやっていなかったのですか。

○事務局 テーマを絞って調査をするというのは、ここ10年くらいみた覚えがありません。アンケート調査というのは例えば総合計画を作る時などに実施していますが、全体の中に部分的に産業が含まれているというのが多かったと思います。昔「産業ガイドブック」というのを作りました。その時にアンケートを送って入力したのですがものすごい時間がかかりました。そこについては業者に人を雇ってやってもらうのか、分析とセットのところもあると思いますので、切り取って委託をするのが可能かはわかりませんが。

○C委員 商工会でも毎年調査しています。個別の内容でないので活用してもらえればいいかなと思いますが、調査内容についてもこれと近いものを行っていると思います。傾向としては大きな違いはないかと思いますが業者さんに頼んでしっかりやることも良いと思いますし、商工会や会議所のデータを活用してスピード感を持ってやることとなれば、議論していてもそんな大きな違いはないのかなと思いますので活用してもらえればいいかなと思います。

○佐久間会長 2か月に一度調査をやっています。それは国にあげているのですが、前期と比べ景気はどうか、といったことをポイント制で聞いています。今回の調査は、それ以外にも事業承継などいろんなことを聞いて深く掘り下げていく調査だと思うのですね。景気そのものを把握する調査は、数としては少ないですが、全国の商工会議所がやっていますので、それとはまた違った調査なのかなと思っています。

○D委員 商工会の調査は何割くらい返ってくるのですか。

○C委員 かなり悪いですね。悪いということおそらく3割くらいかと思います。それも督促をすれば上がるのでしょうけれど、自然体でいくと3割く

らいかと思われます。

- 佐久間会長　　うちの調査は聞きとりですので、職員が出向いて 100%ですが、数が少ないです。10 とか 15 件ですな。
- F 委員　　2 年前にやったアンケートは何件ですか。
- 佐久間会長　　200 件です。それは回収率 80 件くらいだったかと思いますが、かなりお付き合いがある事業者を選んだというのものもあるかもしれません。ということで、調査としては我々もやっているのですが市が考えているもののようにそこまでは掘り下げていないものになります。皆さんから意見を伺ったように、全体的にスピード感を持ってやっていくこと、そして調査項目についてはこの会議で審議できるような形で進めていただきたいこと、まずはそこまでいかがでしょうか。よろしいですかね。
- A 委員　　議論を進めていく材料がないよとなった場合に、会議所、商工会が仮に分母は小さくてもそれなりの調査をした資料を提供いただけるといのであれば、それを前提にこの会議を運営していてもそんなに大きな間違いはないのではと思います。そういった形でこの会議を動かしながら、調査結果が出てきたところでもう一回そのことについて議論していくといった会議のまわし方にしていくのも一つの方法かと思いました。あとは皆さん肌感覚がない方ではないので、そういったところで確認していくのもいいのかなと思いました。
- 佐久間会長　　今、会議の方法なんかを議論していただいています、事務局側としては会議の回数を増やしたりすることは可能ですか。
- 事務局　　可能です。
- 佐久間会長　　そうしますと、来年度に向けては実態調査について、なるべく早い時期に調査項目を検討したいということのようですけども、時期については事務局になるべく早くお願いしたいということでそこまでよろしいですか。その時に会議所や商工会のデータを議論していく材料としていくということでもよろしければそういった方向で。

- 佐久間会長 議題戻りまして、市の施策について議論することも必要でないかとの意見もいただいておりますが、それについてはいかがでしょうか。少し先走りますが、資料3に平成31年度の施策が載っています。
- 事務局 もしよろしければ来年度予算案についてご説明させていただければと思います。こちらの資料、先ほどの調査もそうですが、平成31年度予算はあくまでも案という状態ですので、ご了承いただければと思います。先ほどお話に出た、会議所、商工会のアンケート調査と、市の方でも平成30年度事業の実績がこの会議にお示しできるかと思えます。また市で産業支援センターもありますのでその中で相談件数や内容というも検討資料の一つにさせていただけると思いますので、まずは平成31年度の予算を説明させていただきます。
- 資料3、資料4 について説明
平成30年度、31年度の予算の比較および新規や変更、大きな増減があったところを中心に説明。
- 佐久間会長 説明がありましたがこれについてのご意見、また会議の進め方についてのご意見もございましたらお願いします。事業についての質問でも結構です。
- C委員 ある事業所、障害者施設から相談がありまして、収入を上げたいということで内職ないですかという話が結構あるのですが、なかなか見つけられないのが現状でした。この「内職相談事業」というのは、障害者にできないはもちろんあるかと思いますが、どこに相談に行けば良いのでしょうか。
- 事務局 嘱託員を一人雇用して、月、木を相談日として相談を受けています。事業所からの情報は持っています。状況としては、今年は内職者が見つからないという事業所からの相談の方が圧倒的に多く、そういった点でも人手不足を感じております。事業所によっては年齢や品質管理の面でマッチングできない場合もあります。
- 佐久間会長 進め方ですが、これらの事業一つずつ詰めていくのか、気付いたところがあれば意見を言って事務局からの説明を受けて改善していくのか、方法はあると思いますが。

- D委員 これからアンケートをやっていく中で、現時点では島田市の状況があまり把握できていない中での施策なので、アンケートが返ってきてから、この散らばっている予算が選択と縮充されていくと思います。
- 佐久間会長 そうですね。こういった施策を把握しているか調査で聞いていくこともあるかと思います。
- B委員 今ここにぱっとあげられても、我々まだ何も検討していない状態で、この予算が多いとかもっとここに付けた方が良いとか何もわからない状態なのです。なので、平成32年度予算からは、この会議の中でここを重点的にやったらどうだということで提案ができると思うのですが、現状だと全くよくわからないので。アンケートが返ってきて課題を検討していろんな案が出たものを予算付けしたらどうかという提案はできると思うが。現状では難しいと思います。
- 事務局 今日はこの予算の額だけ見てもわからないと思いますので、それにあたって実際どうだったのかという実績、数値を情報出して、見ていただかないといけないのかなと思っています。また、ご説明する機会をいただければと思っています。
- B委員 気になるのが、先ほどの事業仕分けというのがあるのですが、僕ら議員でもないのに事業仕分けというような仕事はできないので、あくまでここをもっとこうしたらどうかといった提案までで、それをこの会議で求めるのはおかしいかと思うのですが。
- 佐久間会長 貴重なご意見を事務局としては把握した上で、ご意見を伺いながら時代、現場に沿った施策をうちたいということでしょうから。
- A委員 おそらく、こういった会議を立ち上げてくれたことによって、行政の皆さんがより良くしたいということをつくっているのは間違いないですし、大変もない労力を使って予算をとりに行ってくださっているので、それは評価すれば良いと僕は思います。ただ、やはりこういった会議のメンバーのみなさんはそれぞれ立場を持っていらっしゃるって、行動もできる立場の人たちなので、これを今後会長のおっしゃったように、会議の中で、3カ月に1回くらい我々に、進捗状況を開示していただ

いて、その中で我々が感じ取ったことを意見としてお伝えすることがまずできることかなと思います。今まではこの会議がなかったので内部では協議されたり、議会でもはかたりしたと思うのですが、せっかくこの会議ができたので、我々も見せていただいて意見を出させてもらいたいと自分は思っています。

人手不足というのがテーマの一つになっていますが、施策には人手不足対策もいれてもらっているなと思って見ていました。ただ、事業承継のところがおびサポの窓口にあるのですが、予算もついていないですし、これだけみても事業承継のところは少し弱いのかなと単純に見て思います。

○事務局

事務局からの情報提供のあり方ですが、例えば3つテーマがあればこのテーマについてこの事業をやっているというかたちで結び付けをして出せばもっと良かったのかなと思います。事業承継については、今委員がおっしゃったようにおびサポの事業の中に隠れてしまっていて、実際、相談件数としては、平成29年度で言うと84件で全体の7%ありました。今年になって上半期の集計は、全体の9パーセント57件と増えています。人材確保という点についても、平成29年度3%で40件、今年は少し減っていますが。こういった状況といったところまで出せば、何が足りないといったところまで見えてくるのですが、そこまで情報提供できなかったと反省しております。人材確保についても同様で、今回はそういったところまで情報提供させていただきたいなと思っています。

○A委員

ここに来る方たちは素材というかここに材料があれば分析できて知見が多い方もいますので、事務局の皆さんも資料をつくるのが大変になるのですが、この事業をある程度内容を濃くするにはそういった情報を提供してもらえると前向きに検討ができると思います。

○佐久間会長

全体を通してご質問等ありますか。

○A委員

このアンケートはやるということで決まったことなのですが、会議所や商工会の情報を提供いただけるのであれば、それを見ながら議論するというのは有効でないかなと思うのですが。

○佐久間会長

そのタイミングというのは次回ということでしょうか。

- A委員 その辺も含めてです。この推進会議のスケジュール表というのがざっくりあってもいいのではないかなと。
- B委員 ある程度は何カ月に1回とかこの会議の中で決められた方が良いと思います。資料全て揃えるのは大変だと思うので、商工会、会議所のもっているものを使いながら、アンケートの内容なんかもそれで1度確認をした方がよいと思います。資料は小出しで構わないので回数をやった方がよいと思います。スケジュールの中で、先進事例を聞くのかどうなのかといったことや聞くのであればいつ頃が良いのかというところまで決めないと前へ進んでいかない。
- 佐久間会長 事務局はどうですか？開催時期や会議の持ち方について。
- 事務局 時期につきましては、当初のこちらのアンケート内容を確認する前に、会議所、商工会の資料が出してもらえれば使える項目があったり、定点観測もできたりするかもしれません。そういったところでは、年度初めにやらなければと思います。
- B委員 3か月に1回くらいやった方がよいと思います。そんなに事務局が構える必要もないと思います。
- 事務局 皆さんがそちらの日程で大丈夫であれば。
- 佐久間会長 回数、時期についても最適な時に行うということで皆さんどうですか。よろしいでしょうか。ではその辺を加味して事務局の方で案をいただけますか。全体のストーリーを考えた上での組み立てもあると思いますので。
- 事務局 3か月に1回くらいのスケジュール感でよろしいですか。またこれから私ども精査しなくてはいけないと思うのですが、5月、7月、10月、2月くらいの中で平成30年度の事業成果についてもまとまったところまで情報提供させていただきながら現状把握に努めていきたいところ、またできることならアンケート調査の項目についてもできるだけ早く組んでいきますのでご意見伺わせていただくこと、10月については翌年度予算の編成時期になりますので、平成32年度へ繋げていきたいということ、2月については今年度の振り返りと翌

年度に向けての展望を考えていくというところでスケジュールを考えています。若干月の前後はあるかと思いますが、今お話をさせていただいた内容で年4回予定をさせていただければと思っています。

- 佐久間会長 よろしいですかね。
- B委員 先進事例についてはどうしますか。
- 事務局 拒否するものではないのですが、何をどう聞くかということだと思います。それにはどう聞いたらよいか、来てもらうのが良いのか行くのが良いのか、資料をいただくだけで済んでしまうのかなど。
- B委員 このメンバーだけでよいと思うのですが、今まで富士宮市が紆余曲折あったものを今こうなったのだという段階まで話をしてもらうのが、委員も勉強になると思います。そうするとある程度方向性も見えてくるので。1時間くらいあれば話をしてもらえるとと思います。
- 事務局 わかりました。ということであればタイミング的には会長と相談しながら決めさせていただきます。
- F委員 体験談を聞いて知識をインプットして、いろいろな作業をやっていくというのであればできるだけ早い時期の方が良いのでは。
- 事務局 また検討させていただきます。
- 佐久間会長 よろしいでしょうか。議題があちこち飛んでしまいましたが以上で意見交換を終了します。それでは進行を事務局に戻します。
- 事務局 皆さんありがとうございました。最後になりますが、その他事項について来年度の委員の選任についてご連絡させていただきます。委員の任期1年となっておりますので、来年度の委員については改めて選任の依頼をさせていただきます。選任依頼につきましては今回依頼させていただいた団体様に対して同様に依頼させていただきます。依頼の時期については3月中旬頃を予定しておりますのでまたご協力をお願いしたいと思います。では以上を持ちまして第2回中小企業・小規模企業振興推進会議を閉会します。本日はありがとうございました。

